

開校10周年に向けて

青垣小学校 校長だより
令和7年11月号
発行責任者 植木政行

『18歳の大きな進路選択 ～輝く地域の星となれ 一人一人が主人公～』
令和元年度青垣小学校卒業 令和7年度氷上西高等学校3年生
足立 愛理さん 田村 優奈さん 徳岡 滯奈さん

今回は、平成23年開園の認定こども園あおがきに通い、平成29年に4年生で青垣小学校開校を迎えた、氷上西高等学校3年生3名に、小学生の頃を振り返り、大きな進路選択をした今の気持ちやふるさと青垣への思いを語っていただきました。(以下、敬称略)

【青垣小学校開校当時の思い出】

(滯奈) バス通学が嬉しかった。特に最初の1週間、校舎の杉の香りがとても良かった。校歌を劇で覚えた。先生方が劇をしてくださったのが、楽しかった。みな遊びをして楽しかったのをよく覚えている。

(優奈) 楽しみという気持ちが大きかった。校舎がきれいで、私は佐治小学校出身だったので、北館に理科室などが残っているのが嬉しかった。南館と北館をつなぐ渡り廊下がきれいだった。

(愛理) 新しい校歌を作曲した先生が来られて、お話を聞いたことを覚えている。今っぽい校歌だなと思った。佐治小時代は徒歩通学だったが、青垣小になってバス通学になり嬉しかった。佐治小にはなかったランチルームができたことも嬉しかった。運動会の組体操で友だちを持ち上げられなかったことも思い出のひとつ。教室の間の多目的ルームで、着替えをしたり、相談をしたり、本を読んだり、お楽しみ会の準備をしたりしたことも思い出になっている。

【青垣地域のふるさと学習・学校支援ボランティア】

(愛理) 読み聞かせで、ハーモニカがとても上手なおじさんの時は、とても楽しく、グミの実をいただいたりして当たりだと思った。木工クラブで手を切ったこともあった。いずみ会の方にお世話になった調理実習で、鮭のホイル焼きを作っておいしかった。

(滯奈) 鮭はおいしかったけど、私はキノコが苦手だった。蘆田朝子さんたちが作ってくださった七草がゆがおいしかった。自分の丹波布を作るため、休み時間も綿から糸を紡いでいた。バイカモが生育しているキンキンに冷えた川の水で冷やしていたジュースをもらっておいしかった。クラブ活動の茶道部で、お菓子がおいしかった。また、違うクラブ活動で、「じゃがりこ」の空箱に糸をかけてギターを作り、『かえるの合唱』を演奏したのがおもしろかった。高校生と一緒に清掃活動をしたとき、高校生がとても優しくかった。私が高校生として、小学生と清掃活動をしたかった。



開校当時4年生担任の三村恵先生(右)と、写真を見て思い出を語る



いずみ会調理実習(5年生)



バイカモ見学後にジュース(4年生)

(優奈) 間伐体験でもらった板に、家で絵を描いたことをよく覚えている。クラブ活動の茶道部では、私は抹茶が苦手だったけどがんばった。昔遊びのクラブでは、お手玉をして楽しかった。家庭科で、調理実習をしたり、ミシンを使ったりするときに、たくさんの学習支援ボランティアの方が来てくださり、作業がうまくできた。



間伐体験（5年生）

【こども園・小学校・中学校・高等学校の連携】

(優奈) 私は、青垣町北保育園から認定こども園あおがきに行った。こども園ではみんな一緒だったのに、3年経ったら他人のような感覚になっていたけど、またすぐに仲良くなった。小学校では、たてわり班が楽しかった。高校生になり、中学校の体育大会にスタッフで参加した。



クラブ活動：空箱でギター作り（6年生）

(愛理) 私は、認定こども園あおがきからのスタートだった。小学校のたてわり班では、7班の班長をがんばった。

(滯奈) 私は、芦田保育園から認定こども園あおがきに行った。同じ地域の人はずっと一緒にいるから、みんなの仲の良さが上がっている。

【18歳の大きな進路選択と未来予想図】

(滯奈) 自分のやってみたいことにチャレンジしたい。私は、地元の企業に就職する。自分の得意なことは、人と話すこと、接することなので、営業をやりたい。また、地元である行事に参加していきたい。人を笑顔にする、だれかのために役立つ人になりたい。

(優奈) 大学に進学し、大学でもボクシングをがんばりたい。将来は、人に関わる仕事、人を笑顔にできる仕事をしたい。ブライダルプランナーになりたい。

(愛理) 私は、お菓子作りを学ぶ専門学校に進学する。高校2年生のときに、「私、お菓子作りたいかも!」と思った。今もよく作っているけど、もっと上手に作りたい。



糸紡ぎ（6年生）

【青垣小学校への思い】

(愛理) ハーモニカのおじさんに、読み聞かせを長く続けてほしい。

(滯奈) きれいな校舎のままで長く続いてほしい。地域に誇れる存在であってほしい。

(優奈) ボクシングをがんばっていると、みんながやさしくて、あたたかく声をかけてもらった。地域との関わりをずっと続けてほしい。

【ふるさと青垣への思い】

(優奈) 小学生のときに、体験をいっぱいしてきたなと今になって思う。たくさんの体験が印象に残っている。

(愛理) 丹波布、バイカモ、特産物など、小学生のうちに学んでいくことができた。「10歳までの体験が大事」と言われている。小学生のときに校外学習やゲストティーチャーに来てもらう活動を大切にしてほしい。

(滯奈) もっと子どもが増えたら嬉しい。



思い出いっぱいの教室で